

# 農 業

宗谷管内は、年間を通じて気候が冷涼で道内でも特に酪農に適した地域であり、良質な自給飼料を生産し広大な牧草地を活かした草地型酪農を展開しています。

## ■管内農業の特徴

- ・ 宗谷の酪農は、広々とした牧草地を持つ牧場が多いことが特徴です。管内の耕地面積は約6万2千haで、このうち牧草地が約9割を占めています。
- ・ 管内の農業経営体は9割以上が家族経営ですが、小・中規模であっても、高い生産性・収益性を実現している経営体や、農業法人による大規模酪農経営など、多様な経営体によって生乳生産は支えられています。
- ・ 農業算出額は44.1億2千万円で、そのうち畜産関係が97%、うち生乳が35.7億7千万円と大部分を占めています。
- ・ 管内で生産された生乳の多くは、バター、全粉乳、脱脂粉乳などの加工向けに利用されています。



宗谷酪農を代表する放牧の風景

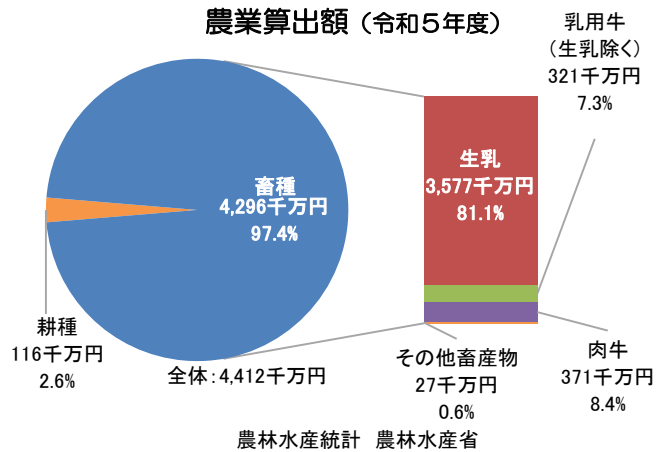
## 管内の農業と全道対比

区分	単位	管内	全道	全道比	備考
耕地面積	ha	62,012	1,138,000	5.4%	※1
乳用牛飼養頭数	頭	58,171	816,800	7.1%	※2
飼養戸数	戸	497	4,970	10.0%	
一戸当たり	頭	117.0	164.3	—	
肉用牛飼養頭数	頭	6,439	544,700	1.2%	
飼養戸数	戸	26	2,030	1.3%	
一戸当たり	頭	247.7	268.3	—	

※1 農林水産統計 農林水産省(令和7年2月28日現在)

※2 管内:肉畜等に関する調査宗谷総合振興局(令和7年2月1日現在)

全道:畜産統計調査 農林水産省(令和7年2月1日現在)



## ■管内農業の課題と対策

- ・ 農家数が減少する中、農業生産や地域を維持するためには、新規就農者や農業関連人材の確保は重要な課題のひとつです。このため、道内外の大学等で宗谷酪農の魅力伝えるセミナーの開催や、酪農の基礎知識と技術を学ぶ研修を開催し、技術力の向上と交流の輪を広げています。
- ・ 地域の強みである広大な草地を活かして良質な粗飼料の確保と生乳生産量の維持・拡大を行うため、補助事業を活用し、草地整備や牛舎等の施設整備、機械導入を推進しています。



道内大学で開催した宗谷酪農セミナー

## 管内の販売農家戸数の推移

区分	単位	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
販売農家戸数	戸	963	866	772	698	605

(農林水産省 世界農林漁業センサス)

## 新規就農者数の実績

区分	単位	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
新規就農者数	戸	9	9	11	1	9

(北海道農政部 新規就農者実態調査)



補助事業を活用して草地整備した圃場